

都市整備

富士山の魅力を活かした 快適な居住環境を創造するまちづくり

誰もが安全・安心に利用できる都市基盤整備を進め、富士山の魅力を活かした快適な居住環境とにぎわいのあるまちづくりを進めます。

- 政策 1 市街地整備
- 政策 2 道路
- 政策 3 公共交通
- 政策 4 住宅・住環境
- 政策 5 治山・治水
- 政策 6 公園
- 政策 7 上下水道



政策 1



市街地整備

目指すまちの姿

回遊性のある機能的な市街地が創出され、
快適に生活を営んでいます



● 基本方針

富士山信仰の歴史・文化が香るにぎわいとおもてなしのまちとして、景観とユニバーサルデザイン*に配慮するとともに、回遊性のある快適で機能的な市街地整備を積極的に進めます。

● 施策の内容

① 計画的な市街地の形成

- 民間開発事業の適切な指導・誘導により、地域の特性に応じた良好な市街地の形成を図ります。

② 市街地の都市機能の向上

- 既存市街地の都市基盤施設の再編や更新に合わせて、防災や交通、産業などの都市機能向上を図ります。
- 富士宮駅周辺を中心に、景観やユニバーサルデザインに配慮した効果的な整備を行うとともに、公共用地を有効に活用することにより、にぎわいを創出します。
- 中心市街地における交流拠点づくりや建物の共同建替、駐車場の集約化等を検討し、歩いて楽しいにぎわいづくりにつなげます。

③ 地域資源を活かしたまちづくりの推進

- 富士山本宮浅間大社や富士山世界遺産センターを中心に、回遊性の向上を図り、門前町としてのにぎわいを創出します。
- 神田川や富士山眺望等を活かし、「清流の美」「空間の美」「庭園の美」をコンセプトとした居心地の良い癒しの空間を創出します。

貢献するSDGs 目標



主要な事業

事業名	事業の主な内容
世界遺産のまちづくり推進事業	世界遺産センターから浅間大社までの参道軸の創出
富士宮駅前広場等施設整備事業	富士宮駅前広場及び周辺施設のバリアフリー化など
宿泊施設等誘致事業	民間事業者との連携によるホテル誘致

● 関連計画

- 富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想
- 富士宮市都市計画マスタープラン
- 富士宮市景観計画
- 富士宮駅周辺地区交通バリアフリー基本構想

用語説明

ユニバーサルデザイン

すべての人にとって使いやすいようにはじめから意図して作られた製品・情報・環境などのデザインのこと。

政策 2



道路

目指すまちの姿

誰もが安全で快適に道路を利用しています



● 基本方針

交通インフラの効率的な機能維持、総合的な交通ネットワークの充実を図るとともに、人にやさしく安全で快適な道路整備を進めます。

● 施策の内容

① 快適な交通環境の確保

- 道路パトロールの強化や、舗装、施設等の日常的な点検を通じて交通インフラの補修・修繕などを行うとともに、舗装や橋梁の長寿命化を計画的に進めます。
- 地域を連携する道路や緊急車両の通行などを考慮し、移動しやすい道路整備を進めます。
- 歩行者や自転車等が快適に利用できるように、歩道や自転車の走行空間の整備を進めます。
- 安全、安心な居住環境の確保と災害に強いまちづくりを推進する取組の一つとして、建築行為と道路整備事業を一体的に捉えた狭あい道路の整備を図ります。

② 道路ネットワークの充実

- 災害発生のおそれのある個所をパトロールし、現状を把握するとともに、緊急輸送路の無電柱化などを進めて災害時の緊急車両の通行を確保します。
- 安全で快適な道路ネットワークを形成するため、都市計画道路の整備を進めます。また、効果的・効率的な優先整備路線を検討します。
- 国道139号市街地周辺の混雑の緩和を目的に、岳南北部地区幹線道路の整備を進めるとともに、高速道路へのアクセス向上を図るため、西富士道路の新インターチェンジの設置について関係機関に強く働きかけます。

貢献するSDGs 目標



3 広域幹線道路*の整備促進

- 隣接自治体との主要な連絡道路となる国道469号（富士南麓道路）の整備促進と、一般広域道路富士富士宮道路の建設促進を関係機関に強く働きかけます。

主要な事業

事業名	事業の主な内容
都市計画道路整備事業	都市計画道路田中青木線の整備など
市道新設改良事業	岳南北部地区幹線道路の整備など
舗装・橋りょう長寿命化修繕事業	道路インフラ施設の長寿命化整備
無電柱化推進事業	無電柱化推進計画に基づく計画的な整備
自転車走行空間整備事業	自転車通行帯の設置など

● 関連計画

- 富士宮市都市計画マスタープラン
- 富士宮市都市計画道路整備プログラム
- 富士宮市橋梁長寿命化修繕計画
- 富士宮市舗装維持管理計画
- 富士宮市自転車活用推進計画
- 富士宮市自転車ネットワーク計画
- 富士宮市無電柱化推進計画
- 富士宮市国土調査事業十箇年計画

用語説明

広域幹線道路

広い地域を結ぶ主要な道路で、交通、物流及び広域交流を担う重要な道路のこと。

政策 3



公共交通

目指すまちの姿

誰もが移動に困らない
便利な公共交通ネットワークが構築されています



● 基本方針

重要な生活インフラとしての公共交通ネットワークの充実に努めることにより、多様化する移動ニーズに応え、誰もが移動に困らない社会を目指します。また、様々な関係者と連携して利用促進等を図り、持続的な公共交通を実現します。

● 施策の内容

① 公共交通ネットワークの充実

- 民間路線バスを地域の交通体系の軸として維持するとともに、一般タクシーや市営公共交通など様々な交通資源を活用して交通ネットワークの整備に努めます。
- AI*や情報通信技術を活用し、幅広い世代に配慮した利便性の高い交通システムを検討します。
- 富士地域の広域的な振興・発展を図るため、新幹線などと連携した乗換利便性向上に向けた取組を関係機関と検討します。

② 公共交通サービスの推進

- 誰もが気軽に「おでかけ」できる社会を目指し、多様な移動ニーズを把握するとともに、関係機関と連携して公共交通の利便性の向上に努めます。
- 到着時刻や乗り換え案内など利用者に向けた情報発信を行うとともに、キャッシュレス決済等によるスムーズな利用環境を検討します。
- 公共交通を中心とした外出機会の創出とモビリティマネジメント*を様々な関係機関と連携して推進します。
- 市民に公共交通への理解・関心を深めてもらうため、宮バス・宮タク説明会を行い乗車人数の増加を図ります。



3 官民連携による交通システムの整備

- バス停オーナー制度をはじめとする個人や事業者が公共交通を身近に感じ、運営を支える体制を構築します。
- 地域の実情に即した移動支援など、共創型の交通システムを推進します。

主要な事業

事業名	事業の主な内容
生活交通確保対策事業	宮バス、宮タクの運行及び民間バス路線を維持するための助成など

● 関連計画

- 富士宮市地域公共交通計画

用語説明

モビリティマネジメント

当該の地域や都市を、「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしこく）利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取組のこと。

AI

「Artificial Intelligence」の略。人が実現するさまざまな知覚や知性を人工的に再現するもの。直訳すれば、「人工知能」のこと。

政策 4



住宅・住環境

目指すまちの姿

安心して長く暮らし続ける住宅が確保されています



● 基本方針

住環境の質の向上と、多様なニーズや時代の変化に対応した住宅政策を推進し、良質な居住環境の形成を目指します。

● 施策の内容

1 快適な居住環境の整備

- 市営住宅の安全・快適な居住環境を維持・確保するため、長寿命化を図ります。
- 市民がいつまでも安心して暮らせるように、環境に配慮した住宅の推進など、居住環境の整備に努めます。

2 空き家対策の推進

- 空き家は今後も増加することが見込まれるため、空き家の状況に応じた除却補助金の活用を促すとともに、移住者が居住する場合に改修補助金を交付するなど、空き家対策の適切な対応を進めます。
- 空き家は適正な維持管理により地域にとって貴重な資源となり得ることから、有効活用に向けた空き家対策を進めます。

3 地域特性を活かした集落環境の形成

- 郊外部における既存中心集落の拠点性向上や集落環境の整備を進めるとともに、地域の特性を活かした定住推進などを支援します。
- 周辺の自然環境と調和したゆとりある良好な居住環境が見込まれる郊外部の集落拠点地域において、優良田園住宅制度*を推進します。

貢献するSDGs 目標



主要な事業

事業名	事業の主な内容
市営住宅長寿命化事業	市営住宅の長寿命化、市営住宅の子育て世帯向け改修
空き家対策支援事業	空き家の除却や改修に対する補助金
市街化調整区域集落拠点活性化事業	市街化調整区域の空き店舗等を利活用するための補助金

● 関連計画

- 富士宮市住生活基本計画
- 富士宮市営住宅長寿命化計画
- 富士宮市空家等対策計画

用語説明

優良田園住宅制度

市が定める基本方針の要件を満たし、周辺の自然環境と調和したゆとりある良好な居住環境の形成が見込まれる住宅を「優良田園住宅」として認定する制度。

政策 5



治山・治水

目指すまちの姿

自然災害等に対する備えが進んでいます



● 基本方針

頻発化、激甚化が懸念される自然災害等から市民の生命と財産を守り、被害を最小限に抑えるため、災害の発生が予測される地域の治山・治水対策を進めます。

● 施策の内容

① 治山・治水事業の推進

- 市民の生命・財産を守る治山・治水・保安林事業を、国・県などと協働して進めます。
- 森林が持つ公益的機能を保全するため、森林整備に努めます。
- 国・県管理河川における必要な施設整備を関係機関へ要請するとともに、連携して治水対策の充実に努めます。
- 市管理の河川・水門は、計画的に改修を進めて適切な維持・管理に努めます。特に水門については、緊急時により迅速に対応できるよう整備を行います。
- 大雨などによる市街地の浸水被害に対応するため、公共下水道事業による雨水渠や都市下水路の整備及び監視体制の強化に努めます。

② 砂防事業の推進

- 大沢崩れを中心とした砂防指定地の施設整備を国や県に要請するとともに、砂防指定地外でも危険な河川・溪流の整備について協議を進めます。
- 富士山火山噴火に起因する土砂災害対策（噴火対策）について、国に対策を要請します。

貢献するSDGs目標



3 災害未然防止の対応

- 無許可・無届の森林開発等による土地の造成や違法な盛土に対応できるよう巡視を行うとともに、関係部署及び関係機関との連携を図り、迅速な対応を行います。

主要な事業

事業名	事業の主な内容
急傾斜地崩落対策事業	県と連携した急傾斜地崩落対策の推進
水門等管理事業	水門の改修及び遠隔操作装置や監視カメラの設置
違法盛土対策事業	富士山麓を中心とした巡視、関係機関との連携、ストックヤード*整備など
公共下水道事業（雨水）	市街地浸水対策として雨水渠や都市下水路を整備
砂防推進事業	大沢崩れ等の砂防整備推進、富士山噴火土砂災害対策の推進

● 関連計画

- 富士宮市都市計画マスタープラン
- 富士宮市公共下水道事業計画

用語説明

ストックヤード

再び搬出することを目的に外部から搬入された土砂を一時的に堆積する場所。

政策 6



公園

目指すまちの姿

誰もが公園で心癒され、楽しんでいます



● 基本方針

都市公園等の適切な維持管理とバリアフリー化に取り組むとともに、多様なニーズや目的に対応した公園整備を進めます。

● 施策の内容

① 多様なニーズに対応した公園の整備の推進

- 地域及び利用者のニーズや目的等を考慮しながら、こどもから高齢者まで幅広い世代が気軽に訪れ、心癒され、楽しめる公園づくりを進めます。

② 持続可能な維持管理の推進

- 安全・安心に利用できるように定期点検を実施するとともに、地域住民等の協力を得ながら美化活動を進めるなど、適切な維持・管理を図ります。

貢献するSDGs 目標



主要な事業

事業名	事業の主な内容
都市公園等整備事業	老朽化した施設の更新及び新設など
公園・緑地管理事業	都市公園及び小公園の維持管理
白糸自然公園整備事業	白糸自然公園の未整備エリアの整備など

● 関連計画

- 富士宮市都市計画マスタープラン
- 富士宮市緑の基本計画

政策 7



上下水道

目指すまちの姿

安全な水の供給と処理により、
清潔で快適な暮らしが保たれています



● 基本方針

富士山からの豊富な地下水の清廉さを維持し、安全で安定した水の供給に努めます。また、公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の計画的な整備や水洗化を推進します。

● 施策の内容

① 安全な生活用水の安定した供給

- 水道施設や水道管の耐震化及び新水源の開発を推進するとともに、適正な維持管理を継続します。
- 水道事業における持続可能な経営を維持するため、計画的な事業の推進及び効率化、料金の適正化を図り、安定した経営に努めます。
- 民間の専用水道などに対して、持続可能な運営や衛生面について指導・技術支援を行います。
- 民営の簡易水道などの施設更新に対して、補助・指導を行います。

② 持続可能な下水道施設の機能確保

- 下水道ストックマネジメント*計画に基づく施設の更新を行うとともに、浄化センターの機能維持に努めます。
- 下水道事業における持続可能な経営を維持するため、計画的な事業の推進及び効率化、料金の適正化を図り、安定した経営に努めます。
- 衛生プラントとの効率的な共同処理を推進します。
- 下水処理により発生する汚泥について、引き続き焼成セメント・肥料等への資源化を行うとともに、民間活力を活用した再生エネルギー化について検討します。
- 広報・ホームページ・戸別訪問などによる周知・啓発を行うなど、公共用水域の水質保全を図るため、水洗化を促進します。
- 下水道ストックマネジメント計画に基づく管路施設等の点検・調査の結果を踏まえ、修繕改築の優先順位や対策を検討します。

貢献するSDGs 目標



3 生活排水対策の推進

- 生活排水処理基本計画に基づき、総合的かつ計画的な排水処理を推進します。

主要な事業

事業名	事業の主な内容
上水道老朽管布設替事業	上水道老朽管の更新整備
水道施設耐震化整備事業	浄水場、配水池、水源などの耐震化
下水道ストックマネジメント計画事業	下水道施設の点検調査及び修繕・更新

● 関連計画

- 富士宮市水道ビジョン
- 富士宮市公共下水道事業計画

用語説明

ストックマネジメント

長期的な視点で施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改善を実施し、施設全体を対象とした施設管理を最適化すること。

基本目標 6

「都市整備」の達成状況を測るための指標

客観指標

指 標	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
道路・橋りょう長寿命化率 橋りょう長寿命化修繕化率 舗装長寿命化修繕化率 ※舗装個別施設計画に基づく長寿命化修繕化率	橋りょう 14.3% 舗装 0%	橋りょう 57.1% 舗装 23.4%
配水池等の耐震化率	82.70%	85.70%
宮バス利用者数 宮タク利用者数	68,999人 14,918人	80,000人 20,000人
空き家の除却・改修費用に係る補助金活用件数	2件	5件
市街地の治水対策（公共下水道（雨水）認可区域内整備率）	32.6%	34.5%

主観指標

指 標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
市内道路の利便性に満足している	2.9	3.3
富士宮市の公共交通（☆）の環境に満足している ☆路線バス、タクシー、鉄道、宮バス、宮タク	2.5	3.0
居住環境に満足している	3.5	3.8
水道水の品質の良さに満足している	4.1	4.3

※主観指標は、1～5段階評価で実施した市民アンケート調査の平均値を示しています。具体的には「非常にあてはまる」を5点、「全くあてはまらない」を1点として、それぞれの点数に百分率を乗じて指数化し、その合計を平均値としています。